

令和5年度 事業報告

公益社団法人
合志市シルバー人材センター

I 法人の概要

定款に定める目的

合志市シルバー人材センターは、社会参加の意欲ある健康な高齢者に対し、地域社会と連携を保ちながら、その希望、知識及び経験に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保し、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的としています。

これらの目的を達成するため、次のような5つの事業を行いました。

事業内容

- ① 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための就業の機会確保及び提供を行いました。
令和5年度の事業実績は、前年度から続く食料品等の物価高騰の影響を受けて、前年度に比べて10.7%減りました。
- ② 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために労働者派遣事業を行いました。
派遣業務は、順調に推移し前年度より11.8%の伸びを達成しました。なお、職業紹介事業は令和5年度も実績はありません。
- ③ 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的としたセンター独自の刈払機操作研修会を令和5年度は5回開催し、後継者の育成に努めました。
- ④ 社会奉仕活動を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を推進しました。
女性会員拡大を目的とした「季節のプランター作り」（年間2回開催）及び「大人のビューティーセミナー（化粧教室）」を開催するなど、就業以外の場での生きがいの充実及び社会参加の機会を提供しました。
- ⑤ センター業務のデジタル化を進めるため、センターのライン公式アカウントを開設し、会員の皆さんへの情報発信の手段として利用を開始しました。
また、令和5年8月には基礎的な内容を中心としたセンター独自のスマホ教室も開催しました。

役員等に関する事項

令和5年度は役員の変更はありません。

役員名簿 令和6年 3月31 日現在の 役職	氏名	常勤・非常勤 の別	摘要
理事長	松岡 為利	非常勤	
副理事長	福島 基	非常勤	
常務理事	藤本 賢一	常 勤	事務局長
理 事	石川 明子	非常勤	
理 事	小松田 安德	非常勤	
理 事	佐藤 勝義	非常勤	
理 事	高見 厚徳	非常勤	
理 事	田尻 敏昭	非常勤	
理 事	野田 直美	非常勤	
理 事	橋本 才次	非常勤	
理 事	原 久明	非常勤	
理 事	山田 一生	非常勤	
監 事	上森 廣	非常勤	
監 事	原田 利行	非常勤	

職員に関する事項

(1)採用・退職

職員の採用・退職もありません。

(2)職員の状況 (令和6年4月1日時点)

	職員数	前年度比	平均年齢
男 子	3名	0	67.7
女 子	2名	0	43.5
合 計	5名	0	58.0

II 事業の状況

収支及び正味財産増減の状況

(単位 千円)

	令和5年度	令和4年度	増 減
経常収益	149,114	164,840	△ 15,726
経常費用	148,475	166,867	△ 18,392
当期経常増減額	639	△ 2,027	2,666
正味財産期末残高	23,143	22,504	639

事業実績

	令和5年度	令和4年度	増減
受注件数・請負（件）	2,496	2,801	△ 305
派遣（件）	27	30	△ 3
契約金額・請負(千円)	131,836	147,635	△ 16,799
派遣(千円)	23,801	21,276	2,525
就業延人員・請負(人日)	22,147	24,288	△ 2,141
派遣(人日)	4,170	4,105	65
事故件数(傷害/賠償)	10 (7/3)	7 (5/2)	3(2/1)

諸物価の高騰の影響を受け、令和4年下半年期から民間の除草及び剪定作業の受注件数の減少が続きました。

また、令和5年10月からインボイス制度が始まったことにより、5年度の消費税の負担額は1,158千円の増加となりました。6年度は負担増2,000千円を見込みました。なお、本年度の経常増減額639,151円は、6年度の消費税納付に充当することにしました。

一方、派遣事業は熊本県の最低賃金の大幅引き上げを受けて、就業延べ人員は微増に留まったものの、契約金額は11.8%の伸びを見せました。

このところ減少傾向にあった事故件数は、傷害事故、賠償事故共に発生件数が増加しました。さらに、傷害事故については、後遺症が残るような重篤事故が発生しました。

作業をする際の不安全行動に起因する傷害事故が多く発生してことから、作業前ミーティングでの注意喚起で会員の安全意識の向上を図りました。

賠償事故は全て草刈り作業での飛び石により発生したもので、飛び石防護ネットの使用を徹底できなかったことが原因でした。

会員数の推移

年月	前月末会員数	当月入会数	当月退会数	月末会員数
4月	274	4	22	256
5月	256	4	3	257
6月	257	7	4	260
7月	260	0	0	260
8月	260	0	0	260
9月	260	4	0	264
10月	264	2	2	264
11月	264	1	1	264
12月	264	3	0	267
1月	267	2	0	269
2月	269	3	0	272
3月	272	1	5	268
	年間計	31	37	△ 6

会員数の年度目標は、284人でしたが4月に退会者が相次いだため、目標を達成できないまま年度末を迎え、目標の94.3%に留まりました。

男女別の入退会状況

女性会員を増やすために積極的にイベント等を開催したことにより、女性会員が増加し、女性会員比率は24.6%になりました。

	年度当初	入会者数	退会者数	年度末	構成比
男性	210	21	29	202	75.4%
女性	64	10	8	66	24.6%
合計	274	31	37	268	—

Ⅲ 各種会議に関する事項

定時総会

本年度は、定時総会をJA熊本教育センターにおいて開催しました。
会員総数258名、総出席会員数170名と定足数を満たし、総会の審議にかけられた議案はいずれも賛成多数で承認されました。

理事会

本年度は、理事会を4回開催しました。

第1回理事会 令和5年 5月 22日

第2回理事会 令和5年 8月 3日

第3回理事会 令和5年11月29日

第4回理事会 令和6年3月13日

各理事会における主要な審議内容は、以下のとおりです。

- ① 第1回理事会では、令和4年度の事業報告(案)、決算・監査報告(案)を審議すると共に、特定費用準備資金の取扱規程を創設しました。
- ② 第2回理事会では、今後のデジタル化の推進について審議し、令和6年9月の業務用パソコンの更新に併せて、新たな業務システムを導入することが決定しました。
- ③ 第3回理事会では、令和5年度第1回補正予算の審議、及び労働局並びに熊本県による指導監査で指摘された諸規程の改定を行いました。
また、配分金見積基準単価を改定し、令和6年4月より適用することも決定しました。
- ④ 第4回理事会では、令和6年度の事業計画(案)、収支予算書(案)の審議を行い、いずれも原案どおり承認されました。
理事会での承認を受け、3月26日に熊本県庁への届け出を完了しました。

総務委員会

理事会にて審議する内容を事前に検討するため、総務委員会を次のとおり開催しました。

第1回委員会 令和5年11月2日

第2回委員会 令和6年3月2日

IV 講習会等の開催に関する事項

熊本県連合会主催によるもの

- ① 就業相談会
令和5年6月8日開催 12名参加
- ② 保育補助講習
令和5年6月6～8日開催 7名参加

センター独自開催によるもの

- ① 刈払機操作研修会
新入会員を対象として5回開催、延べ16名が受講しました。草刈り作業を希望する新入会員は、全員研修会を受講しました。

第1回	令和5年4月26日	4名参加
第2回	令和5年5月13日	3名参加
第3回	令和5年6月3日	4名参加

第4回 令和 5年 9月 9日 3名参加
第5回 令和 6年 3月 9日 2名参加

② 大人のビューティーセミナー 指導 資生堂ジャパン(株)美容部
令和6年2月26日開催 11名参加

③ 夏のコケ玉作り (有)南花園 本田先生の指導
令和 5年 7月 5日開催 7名参加

④ 冬のコケ玉作り (有)南花園 本田先生の指導
令和5年11月24日開催 5名参加

V 入会説明会の実施状況

入会説明会は事前予約制で実施しました。一人ずつ時間をかけて面談を行うことで来所された方の就業に関する希望を把握でき、早期の就業に繋げることができました。また、将来の会員登録につながるシニアパートナーの獲得にも力を入れました。

年月	実施回数	シニアパートナー登録数
4月	5	5
5月	6	5
6月	4	3
7月	0	0
8月	8	7
9月	6	3
10月	3	3
11月	1	1
12月	3	3
1月	2	2
2月	9	8
3月	2	2
年間計	49	42